愛知県キャンプ協会将来計画 「戦略プラン 2022-2025」について

★戦略ドメインごとのグループで今後検討すること

- 各戦略ドメインの1年ごとのロードマップ(案)をそれぞれ作成する。
- ・全てについて、それぞれ掲げた具体的な行動目標を実現するために、各事業や取り組みの「企画・立案」、「実施・評価」、「事務作業」などの実際に誰が(役員、グループ)が担当し、実施していくのか具体案を示す。

(作成した計画案の内容が提案だけに終わらないように)

- ・実施に必要な組織体制作りも含めて検討する。
- ・今の役員体制、事務局体制が永久に続く訳ではなく、変更があっても立案した将来計画案が進むように考える。
- ・この将来計画に4年間が拘束されるわけでなく、理事会で1年ごとに点検評価をして、場合によっては将来計画の 見直しをしていきます。
- ・日本キャンプ協会「ビジョン2025」の内容とリンクさせていく。

日本キャンプ協会「ビジョン 2025」の年次計画を参考に以下の通りスケジューリングし、進捗工程を管理していく。

初年次(2022):ホ ッ プ…… 導入実施期間 各協会事業に反映開始、モデル的にできる内容を実施

二年次(2023): ステップ…… 本格実施期間&中間見直し

三年次(2024): ジャンプ…… 実行→定着実施期間

四年次(2025): チャレンジ…… 仕上げ&総括&次期将来計画の策定

単年度での進捗確認 (2022~2025)

- ・総会(5月)の機会に、適切に評価・公表する。
- ・理事会(毎月)の機会に、進捗把握・方向性確認。
- ・戦略プラン実施委員会(会長、理事長、各戦略ドメイン主任、会計担当理事、他)を年数回行い実施して行く。

★各戦略ドメインの内容

◎研修会の充実

基本目標:指導者研修会などを通じて理論と技術を涵養し、県内キャンプ指導者として活躍できる人材の育成担当理事:〇大山、家田、藤井、山下

行動目標案 (検討する内容)

- 1. 参加対象に見合った研修方法の検討(主体的な学びを求めて)
 - ①キャンプ協会会員のニーズを満たすキャンプ技術・知識の向上を図る研修内容・方法
 - ②愛知県キャンプ協会団体会員メンバーのニーズを満たすキャンプ技術・知識の向上を図る研修内容・方法

※参加者:一通りのキャンプ指導に関する技能や知識、キャンプ活動を自身で経験している キャンプ指導の経験がある人を対象として

※該当事業:「キャンプアカデミー」などの主に会員及び団体会員メンバーを対象とした事業

- 2. キャンプ協会資格取得者がその資格を活かす、指導の場面創出するための事業の検討
 - ①キャンプインストラクター養成講習会などに対応できる講師の養成及び資質を高める研修 役員やキャンプディレクター2級以上取得者への研修 → 愛知県キャンプ協会主催事業講師の養成
 - ②現代社会のニーズに合ったイベント等への指導者派遣要請に応える指導者養成、団体の育成及び支援 アクティビティの企画運営、指導に関する講習
- 3. これからキャンプ指導者を目指す人への研修の充実
 - ①「キャンプインストラクター養成講習会」の運営実施方法のバリエーションを増やす 開催日程、方法(集合日数、オンラインの活用、オンデマンド研修用映像作成検討 など) 資格取得要件を満たす幅広い実施方法の検討(ポイント制、他団体の研修と連携など)
 - ②受講者増、資格登録者増を図る具体的方法を検討しパイロット的事業を実施していく

◎会員支援の充実

基本目標:会員サービスを多面的に支援する運営のあり方への改善

学生ステークホルダーにターゲッティングして、インスタラクターをとった後の活用場面のための事業

を創出、発信。(団体会員の学生が資格取得をしたいと思える仕掛けをする。)

担当理事:〇中野、内田、平松、山根

行動目標案 (検討する内容)

1. 即時性の高い連絡手段および情報提供手段の作成(&人材バンク)

- ①愛知県キャンプ協会の"LINE"作成『導入根拠として、電子媒体の活用改善は会員(特に若者会員)の 支援体制充実に直結すると想定している。』
- ②会員メールアドレスの把握

(今後、資格を取る方には、ラインかメールアドレスを取得する。現会員には声を掛けて集めていく)

- 2. 会員・団体会員のニーズにあたったサポート
 - ①学生団体会員へアンケート調査を実施し、求める研修事業などを検討、実施する。

数値目標:学生団体への満足度調査

- ②一般(会員ではない)を対象としたニーズの調査をする。
- 3. 活動場面の情報提供
 - ①発信媒体の回数・件数よりも発信内容として資格を取った学生が参加できる事業やイベント発信と参加 数値目標の設定:参加型事業の発信数・問合人数
 - ・定期刊行物、HP、FBは継続するが、学生にすぐ届くようにラインやインスタなどでの発信。
 - ・「印刷物の精選」「電子・紙配付選択制」等で経費削減を図れれば、効果的予算配分により 会員支援体制の充実に繋がる。また、SDGsの観点からも電子媒体は推進すべきである。

◎社会貢献・社会連携

基本目標:野外活動の発展と普及に貢献するための事業実施とキャンプ指導者活躍の場の創出

担当理事:〇福富、井澤、野畑、江本

行動目標案 (検討する内容)

- 1. 一般向けイベントの実施
 - ①「あいちキャンプフェスタ」の方向性の検討
 - ②他団体企画のイベントとのコラボレーション
- 2. 他業種団体との連携、つながりの強化
 - ①カルチャー講座への対応 (要請受け入れ、企画売り込み など)
 - ②マスコミ等の依頼に対応できる準備
 - ③愛知県キャンプ協会賛助企業、団体の発掘
- 3. 社会的認知の向上
 - ①愛知県キャンプ協会及びキャンプ協会有資格者の活躍場面の露出増
 - ②愛知県キャンプ協会HPやFB以外を使った広報戦略(マスコミ、タウン誌 他)

◎日本キャンプ協会等との連携

基本目標:日本キャンプ協会や他支部から情報を収集し、会員の満足度を高める運営の確立

担当理事: 〇時安、武藤、橋本、増田

行動目標案 (検討する内容)

1. 共同企画の実施

- ①日本キャンプ協会との連携事業
- ②中部北陸ブロック県協会との連携事業
- 2. 最新情報の収集
 - ①「ビジョン 2025」の内容や進捗状況の確認と懸案事項の情報共有
 - ②日本キャンプ協会及び他投道府県キャンプ協会発信情報の取り込み (HP、会報からの収集など)
- 3. 会員情報共有方法の検討
 - ①キャンプディレクター資格 (1級、2級) 保有者情報の把握
 - ②指導者一覧の作成(正会員、普通会員、賛助会員、団体会員内の個人)
 - ③キャンプインストラクター課程認定団体の把握と連携

◎人材の確保と育成

基本目標:本会の目的を達成できる行動力と社会性に優れた会員及び役員の確保・育成

担当理事: 〇遠藤、虎澤、鈴木、林

行動目標案 (検討する内容)

- 1. 愛知県キャンプ協会コミュニティの構築
 - ①新規加入者のフローの確立
 - ②脱退フローの確立
- 2. 指導者向け依頼から報告までのフローの確立
 - ①愛知県キャンプ協会の配信用ツールの確立

(例) LINE、メーリス、FlowPAD、その他コミュニティ管理システム等

- ②キャンプ協会への依頼が入った際のスキームの作成
- ③実施報告書の作成や理事会報告等のスキームの確立
- 3. 会員の育成・役員の確保
 - ①会員のスキルアップ講習の開催
 - ②若年層の役員確保への推進
 - (例) 団体会員の代表者が理事会参加、学生交流イベントの開催
 - ③愛知県キャンプ協会コミュニティから社会人理事、若手役員の引き上げ

◎運営改革

基本目標:理事会構成員の若返りを目指す運営改革を持続し、創立40周年を担う組織づくり

担当理事:〇武藤、橋本、時安、増田、小宮

行動目標案 (検討する内容)

1. 財政基盤の確立

①個人会員の確保

新企画等取り組みを活性化することで研修会や会員支援内容を充実し、既存会員の維持と新規会員の増加を図り、会費収入の安定化を実現する。

②企業・団体会員の加入促進

日本キャンプ協会活動に賛同いただける候補企業(小規模オーナー系)や関係団体をリストアップして、順次訪問勧誘することで加入を促し、安定的な会費収入の増加に結び付ける。

③多様な収入源の確保

助成事業の積極的な参加やHP等での広告収入、寄付金など外部資金の獲得のための方策を具体化する。

2.企業との連携

①後援組織の設立

会員企業を後援団体として組織し、本協会との関係性を深めることで関心を持っていただくことで、協力者としての意識を醸成して主体的援助を求める。

②意見交換会の実施

①の後援団体企業を中心に、ネットワークを活用して参加者を募り、意見交換の場を設定する。そして、協会運営の在り方や諸活動を活発化する有効なアイデアや解決策を得て、運営改善の一助とする。

③主催事業への協賛

①②で本協会の諸活動を深く理解いただき、主催するイベント等への資金援助を依頼する。

3. 運営組織の強化

①運営体制の見直し

戦略プランの各行動目標に担当理事を割り振ること、また理事会の業務支援を行う協力委員を募ることなどで運営体制の在り方を見直し、組織としての実行力を高める。

②40 周年記念事業の企画立案・推進

創立 40 周年を迎える 2024 年に記念事業が滞りなく実施できるよう、準備委員会を立ち上げ、企画を立案・推進する。

③法人化の調査・研究

法人格を持つ他のキャンプ協会の事例を調査して、法人化するメリット・デメリットを整理・研究する。